Atelier Filondor
アトリエ・フィロンドール
〒431-3125 浜松市中央区半田山 5-17-12

JEWELER'S NEWS

ジュエラーズニュース 2026 年　11 月号　ジュエリーを通して「しあわせ」をお届けします



発行 株式会社フィロンドール
〒431-3125
静岡県浜松市中央区半田山 5-17-12
TEL：053-431-5655
Emai：info@filondor.com
定休日：毎週木曜日・第三水曜日

11 月の休業日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5



夢をかなえるジュエラー
代表・デザイナー　杉山 誠（まこちゃん）

・(社) 日本ジュエリーデザイナー協会正会員
・JBS 宝石鑑定士
・NHK 文化センター「宝石の見分け方教室」開催
・日本リ・ジュエリー協議会 1 級リモデルカウンセラー

世界に一つのジュエリー作りに毎日ウキウキ奮闘中！

所用で三重県の帰り、菰野町にある片岡温泉アクアイグニスで入浴はした。熱めの源泉かけ流しで温泉成分がとても濃く過去最高レベルの温泉でした。超お薦めです。



希望を描くディレクター
ジュエリーディレクター　渭原 賢明（まーちゃん）

・イタリア・フィレンツェ市宝飾学校卒業
・GIA（米国宝石学会）グラデュエイトダイアモンド
・日本リ・ジュエリー協議会 1 級リモデルカウンセラー
・日本真珠振興会 パールシニアアドバイザー

国内外の多彩な経験を活かして力になります！

買い換えか車検かを迷っていた車が突然大きな故障に見舞われ、急遽車を買うことに。子供の成長や年齢を考え、悩み抜きました。久しぶりの大きな買い物、納車が楽しみです。



命をふきこむクラフトマン
クラフトマン山﨑 良明（やまちゃん）

・メーカーを経て宝飾学校を卒業。
・JJA（日本ジュエリー協会）ジュエリーデザインアワード第4部門入選。

鋭い感性と確かな実力で指輪に命を吹き込みます！

浜松クラフトビールフェスへ行ってきました。県外のクラフトビールを飲み比べながら、ビールにぴったりの料理も堪能。心地よい気候の中、美味しいビールを楽しめました。



笑顔をはこぶアドバイザー
アシスタントアドバイザー 高井志津子（しずちゃん）

・日本ジュエリー協会ジュエリーコーディネーター
・法人営業などを経て、アパレル関連のカリスマショップスタッフに。
・3級ファイナンシャル・プランニング技能士

いつも笑顔で、リラックスできるお店にします！

娘とタイのバンコクやアユタヤへ行ってきました。壮大な遺跡とグルメを満喫。帰国して「やっぱり日本が一番いい！」としみじみ。異国の刺激を味わい、日本の良さを再発見させてくれた旅でした。



想いを伝えるクラフトマン
クラフトマン加藤 友香（ゆかちゃん）

・広告デザイナーを経て、宝飾専門学校を優秀製作表彰を受け卒業。
・2013日本ジュエリーデザイン画コンテストグランプリ
・2013パールデザインコンテスト入選

極上のセンスと技術で、特別なジュエリーを作ります！

久しぶりに懸賞に応募してみると、最近はSNSを使ったキャンペーンが増えていると感じました。時代とともに応募方法も変わっているんだなと実感しています。

Instagram　atelierfilondorbraidal
フィロンドールブライダル
指輪写真をほぼ毎日更新しています。

Instagram　atelierfilondorreformrepair
フィロンドールリフォーム＆修理
リフォームや修理の実例を載せています。

Facebook　アトリエ フィロンドール
くわしい情報を定期的に更新します。

LINE　アトリエ・フィロンドール
お友達への情報のほか、お問合せや連絡も。

2026年 Christmas bridal fair　～12/29(火)まで

お客様を素敵なディナーにご招待する冬のブライダルフェア。指輪とともに忘れられない時間をお過ごしください。



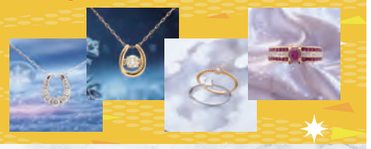


地元の食材に、シェフが趣向を凝らしたフレンチフルコース。
ミシュラン星付きレストラン監修の逸品まで、特別な時間をお楽しみください。

期間中に 40 万円以上のエンゲージリング、又はマリッジリング
ご成約のお客様をもれなくキャトルセゾンのディナーにご招待いたします。

まもなく Atelier Filondor Christmas Jewelry 2026 開催！

今年も 12 月に「クリスマスジュエリー 2026」を開催！大切な方への贈り物や、自分へのご褒美にぴったりのジュエリーと、特別なフェア特典をご用意します。詳しくは 12 月号でご紹介しますので、どうぞお楽しみに！



冬のジュエリーリフォームフェア

▶こんなお悩みはありませんか？

・古いデザインで使っていない
・片方だけのピアスやイヤリング
・価値がわからない宝石
・切れたネックレスやサイズの合わない指輪
・リフォームか買取か迷っている



年末の大掃除で、眠っていたジュエリー発見！
譲り受けたものや壊れたものなど、この機会に見直してみませんか？
修理・リフォーム・買取まで、お気軽にご相談ください。

フェア期間中は無料相談も承ります。
修理・加工・お見積りなど、
お気軽に LINE からご相談ください。

加藤の御朱印 集めてみましょ！　場所：京都市　本能寺

続・京都、今回は絶対に行きたかった本能寺へ！本能寺の変が起こった場所は現在の本能寺とは別の場所にあるため、まずは当時の跡地を訪ねてみました。その後、現在の本能寺へ。境内の本堂裏には織田信長のお墓があり、その隣には亡くなった家臣たちのお墓も。森蘭丸の名前も見つけ、歴史上の人物が実際にここに祀られているのだと思うと少ししんみり…。宝物館ではちょうど名刀展が開催されていて、復元刀をはじめ多くの刀を見ることができました。驚いたのは、刀の情報を記録するために波紋を墨で細かく描き写していたこと！復元刀を実際に持てるものもありましたが、手にしてみるとずっしりとした重さ。こんな刀を戦場で振るっていたのかと思うと、当時の武士の力強さを感じました。宝物館を見学した後は、明智光秀の塚にも足を延ばしました。













しずちゃんの『それ遠州弁だら？』

その 91

「でがあった」

先日、バレーボールの試合に出かけた時のこと。近くにいたおばさま同士の会話が聞こえてきました。「やぁっとかめだや～」これは「久しぶり」という意味。すでに習得済みの私ですが、続いて出てきた言葉は初耳でした！「でがあったね～」デガアッタ？？？ 試合に出たこと？ 手が上がったの？ それとも聞き間違い？？どうやら「会うまでに長い期間があったね」という意味だそうです。
そのおばさまいわく、「私んしゃべってるのが遠州弁の標準語だに」とのこと（笑）。
遠州弁の標準語って…
…何でしょう（笑）。
まだまだ勉強が必要です！



山 クラフトマン山ちゃんの職人の料理

『ニラ焼売』





【材料（2 人分）】

〈肉だね〉・ニラ 1 袋
・豚ミンチ　200g　・豆腐　150g
・片栗粉 大さじ 3
・砂糖、醤油、ごま油　各大さじ 1
・おろしチューブ　5cm
・シュウマイの皮　・ごま油　大さじ 1
・料理酒　大さじ 2

〈お好みで〉
酢醤油、ポン酢、辛子、ラー油、柚子胡椒など

① ニラをみじん切りにし、火をつける前のフライパンで肉だねの材料をすべて混ぜ合わせます。
② 肉だねを一口大に分けて並べ、上からシュウマイの皮をかぶせます。
③ ごま油を回しかけ、中火で約 4 分焼きます。焼き色がついたら料理酒を加え、ふたをして弱火で 5 分蒸し焼きにします。
④ ふたを取り、中火～強火で水分を飛ばし、こんがり焼き上げたら完成！
⑤ お好みのタレでどうぞ。

肉だねは「大丈夫？」って心配になるぐらい柔らかめです。
丸めず、掴んでそのまま並べるだけなので意外とラク。

過去の JEWELER'S NEWS は当店ホームページから見られます！

ジュエラー達が語る、ジュエリーのおはなし

第 200 話　貴金属のおはなし ㉑　変わらない奇跡

今月は、金が持つ最大の魅力であり、人々が特別な想いを託してきた「永遠性」についてのお話です。私たちが生きる自然界では、すべてのものが時間とともに移り変わっていきます。青々とした木々は枯れ、頑丈な鉄は赤く錆び、生き物の命もいつかは尽きてしまいます。そんな「変化していく世界」の中で、金だけは例外でした。先月までにお話しした通り、金は他の物質と決して反応しないため、どれほど時が流れても、汗や空気に触れても、その美しさが損なわれることはありません。原始の人々にとって、腐食せず、絶対に姿を変えないゴールドの存在は、どれほど奇跡のように感じられたことでしょう。すべてが移ろうからこそ、人々は「変わらないもの」に神聖な輝きを見出し、不滅の魂や永遠の愛を重ね合わせたのです。何千年前の輝きをそのまま今に伝える金。その奇跡的な強さが、今も変わらず人類を魅了し続けています。



100 年前の指輪であっても、傷を除去すれば美しい輝きを取り戻す。科学的に変化しないことが、変わらぬ（上がり続ける?）価値を生み出す。